

佐々木あけみの一般質問

※地元図書館に、県議会の議事録があります。
※県議会のホームページに掲載されています。

一 知事の政治姿勢について

1. 知事の基本認識
2. 政府の成長戦略との連携とは
3. やまぐち産業戦略の方針
4. 山口県にとっての道州制
5. 朝鮮学校補助金の予算計上

二 新年度予算と県政の諸課題について

1. 新年度予算
 - ①臨時財政対策債
 - ②法人住民税の一部国税化と県財政への影響
2. 子どもの貧困対策法
 - ①法の運用
 - ②山口県の計画策定の考え方
3. 公契約について連合山口との政策協定
 - ①政策協定具体化の今後のとりくみ
 - ②入札不調解消と技能労働者の確保・育成

4. 自殺対策

- ①自殺総合対策計画に基づくとりくみと効果
- ②自殺予防のための「山口市のち電話」との連携・支援

5. 原発問題

- ①国のエネルギー基本計画(案)
- ②県による原発立地の正当化
- ③原発ノ一の県民の声の受けとめ
- ④公有水面埋め立て免許延長問題

三 教育問題について

1. 教育委員会制度

- ①制度見直しについて、見解と国への申し入れ

2. 特別支援教育

- ①特別支援学校の新設
- ②特別支援学級と通常の学級への教師の増員

一般質問の質疑から (一部抜粋)

一 知事の政治姿勢について

1. 基本認識

佐々木

知事は、所信表明の中で「山口県は、産業構造の変化、地域間・国際間の競争激化、人口減少・高齢化など、多くの困難に直面している。安倍内閣の成長戦略とも連携し、活力を失っていく地方を元気にしたいとの自らの原点に立ち返り、ふるさと山口県のために全力を尽す」と決意を示している。

しかし、本格的な人口減少社会を迎え、かつてのように経済の拡大、成長、地域間・国際間の競争に勝つという前提に立つ限り、税金の投入は、どこまでも続く。企業誘致の優遇策競争はその一例だ。

働く場所確保のために、企業誘致は重要だが、地域資源の活用や、人口減少時代の豊かさ、幸せとは何かなど、いま国も県も発想の転換が必要ではないか。基本認識についてたずねる。

知事

山口県をとりまくきびしい情勢の課題解決のため、5つの政策の柱を掲げている。

その一つは「やまぐち産業戦略推進計画」の

いっそうの充実とスピードアップにより「地域経済の活力を高めて、山口県を元気」にする。このとりくみは、経済の活性化や雇用の場の創出のみならず、強固な行財政基盤のための税源の確保にもつながるなど、施策を推進するためのベースとなる重要な政策であると考えている。

一方で、くらしの安全・安心の確保や、互いに支えあう地域づくりにもとりくみ、「山口県に生まれてよかった」と思っていただけ県づくりに努める。

佐々木

山口県内のうっ屈した気分の一つには、保守王国といわれる政治状況があると考えている。

知事誕生に至った経緯、知事の選挙地盤をみると、一抹の不安がある。

特定の政党・団体にかたよらないと言われたが、とくに国策によって、県民がどういう暮らしを強いられるのか、山口県は、国に対してどう言い続けてきたのか、その姿勢を聞いてほしい。

知事

特定の政党にかたよるわけではなく、県民の目線で考えて県政にとりくんでいく。

県議会ともしっかり議論させていただきたい。